3．地域・地区を貫く・区切る・つなぐ幹線道路軸の景観形成

（景観計画 p.42、47、61）

＜基本目標＞

都市の印象を高め、都市をわかりやすくする幹線道路軸景観の形成を目指します。

＜全体方針＞

①	地域・地区を貫く・区切る･つなぐ幹線道路軸は、各々の道や沿道の機能にあわせ、テーマ性を有した景観形成を図ります。
②	都市モノレールの各施設が、沿線の景観に調和するよう努めます。

■骨格的景観要素　図2

＜個別方針＞

①都市の玄関口や市域の骨格となる景観をつくる広域幹線等は、県都として印象の強い、端正で風格のある景観形成を図ります。

目立たった看板等がなく、整然とした街並み

連続する街路樹とその幹の色と同調した色彩のストリートファニチャーにより構成された風格ある幹線道路

国道 58 号

県庁前

②地域・地区に馴染む固有の景観をつくり、人々に親しまれる幹線等は、地域・地区の用途や特性等に応じて、「楽しい・賑わいのある」、「落ち着いた・安心感のある」、「きれいで分かりやすい」などのテーマにふさわしい景観形成を図ります。

赤瓦の屋根が並ぶ街並み

統一感のあるコ色彩（コーラルホワイト）の外壁とし、世界遺産と調和するよう配慮する。

龍潭通り

市街地再開発事業により創出された公開空地と一体となり、再生された既存の歩行者専用道路

旭橋の歩行者専用道路

③幹線道路や地域・地区の主要道路の交差点は、地域・地区の用途や特性等に応じて、分かりやすく安全であることを基盤に、「象徴的な通りのゲート」や「印象的なアイストップ」、「信号待ちの人々へのさわやかな緑陰」となるなどのテーマにふさわしい景観形成を図ります。

安里交差点

安里三叉路

交通広場の緑陰の創出

てんぶす那覇前広場

④地域・地区のシンボルとなる道路や歴史的に重要な道路等は、地域の個性を十分に表現した景観形成を図ります。
また世界遺産（首里城跡および識名園等）周辺の主要道路は、それら世界遺産と調和させた整備を図ります。
街路樹は原則として歴史性を感じさせる樹種を活用します。

龍潭通り

識名園前

交通広場側の高さを抑え、圧迫感の軽減が図られている。

歩道と一体的に確保した空間を緑化し、潤いとゆとりある空間とした事例

さいおんスクエア交通広場

⑤沿道の看板類や、建物の色彩などを一定制御することなどによって、調和のとれた美しい景観形成を図ります。

那覇中環状線

⑥モノレールから望まれる屋上や、屋根については、亜熱帯植物による屋上緑化や勾配屋根（赤瓦）などを用いることで、那覇らしい景観形成に努めます。

屋上緑化をしている住宅（儀保駅付近）

屋上緑化をしている住宅（儀保駅付近）

⑦モノレール桁下は、可能な限り緑化・修景を図ります。

つる性植物（カエンカズラ）で橋脚を緑化することによるみずみずしい景観

モノレール桁下の緑化事例（儀保駅付近）

モノレール桁下の緑化事例（古島駅付近）

モノレール桁下の緑化事例（那覇内環状線　田原付近）

⑧モノレールの沿線及び車体の広告物は、良好な景観となるよう規制・誘導します

モノレール沿線の広告物

調整の上、設置されたモノレール車体の広告物

4．眺望点と眺望景観

（景観計画 p.43、47、62）

＜基本目標＞

那覇・首里の歴史景観や、わがまちの風景が見渡せる眺望点の整備と、眺望景観の保全を目指します。

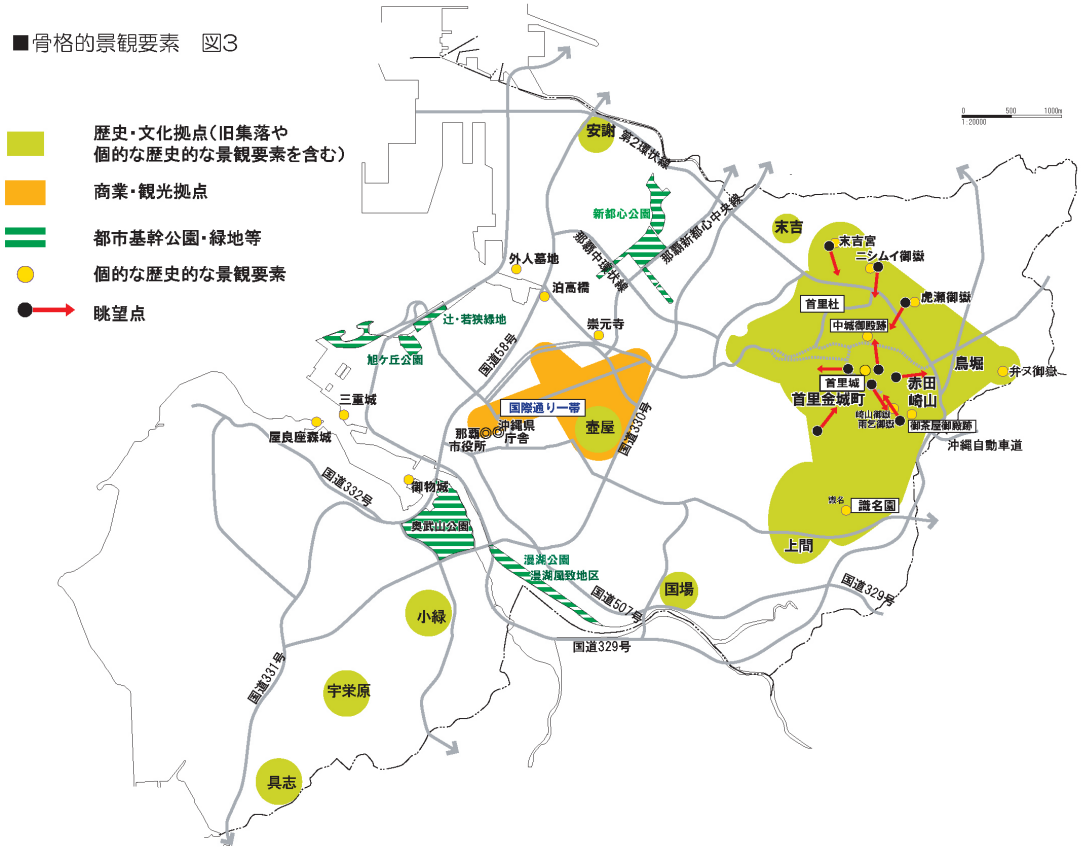
＜全体方針＞

以下の景観を保全し、誰でも快適・安全に景観を見渡せる眺望点を整備します。
首里杜一帯の歴史的眺望点からの眺望景観の保全

	眺　望　点　（～から）	視　対　象　（～に対する）
（1）	末吉宮（眺望点）	首里城及び首里杜一帯
（2）	ニシムイ御嶽	首里城及び首里杜一帯
（3）	虎瀬公園	首里城及び首里杜一帯
（4）	首里城広福門広場	首里杜一帯及び緑の稜線
（5）	首里城東のアザナ	弁ヶ嶽、首里杜一帯及び緑の稜線
（6）	崎山御嶽	首里城及び首里三箇の街並み
（7）	首里城京の内	崎山御嶽、雨乞御嶽一帯及び緑の稜線
（8）	繁多川公園	首里金城町一帯の街並み
（9）	首里城西のアザナ	西の海を背景とした市街地

※p. 33～35 で各眺望点からの写真を掲載しています。

■骨格的景観要素　図3



＜個別方針＞

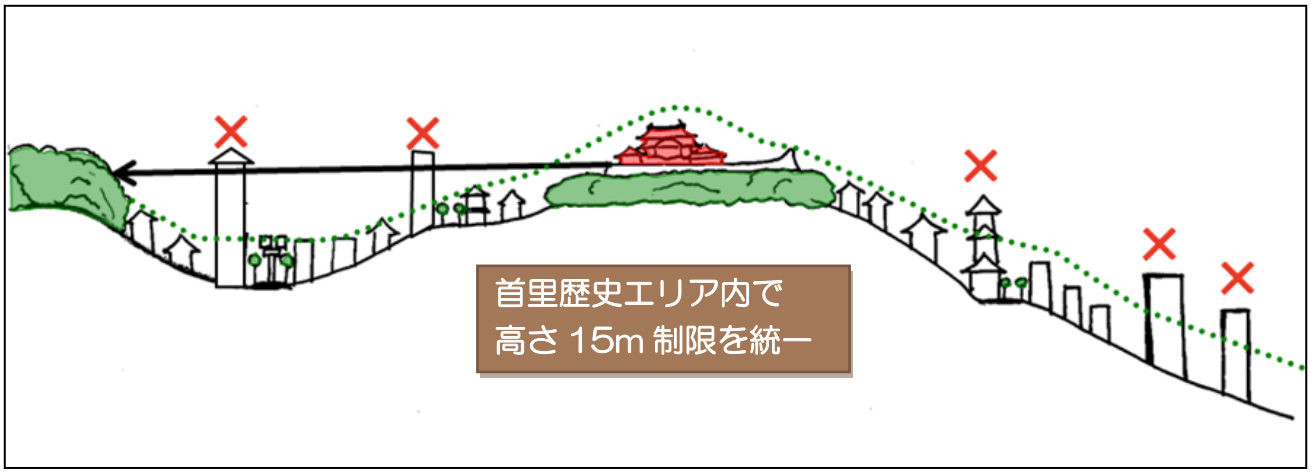
①首里杜（首里歴史エリアに相当）の眺望景観

・首里城内の眺望点の保全・整備ならびに眺望点から見渡せる首里杜一帯の歴史的な斜面樹林帯（スカイライン）を保全・育成します。

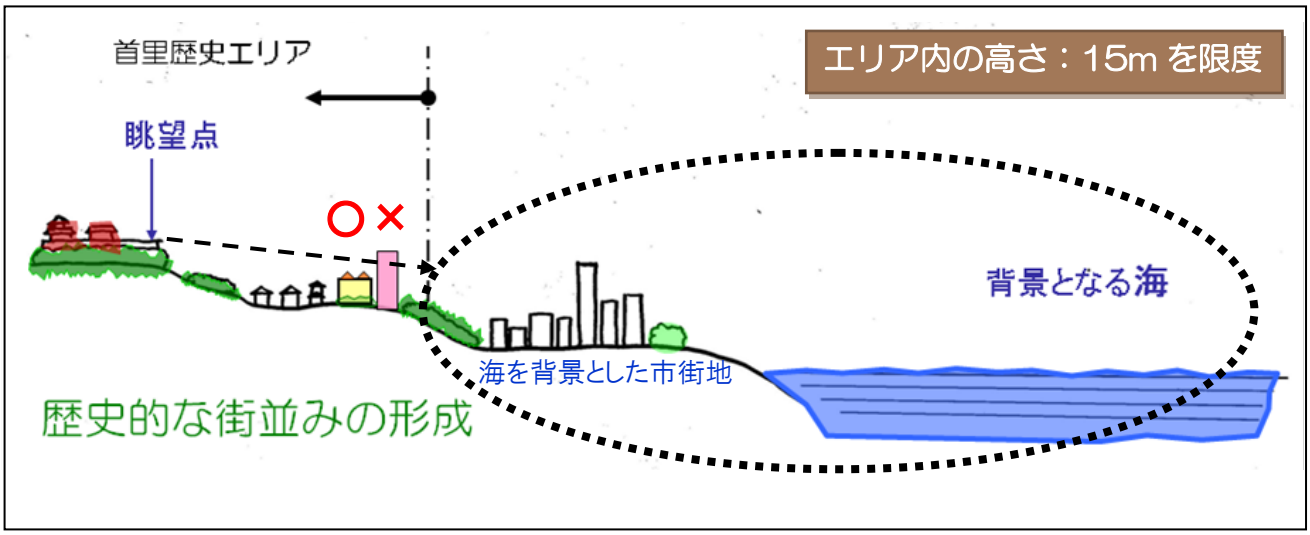
・眺望点からの、わがまちの眺望景観をできるだけ保全します。

●首里歴史エリアにおいては、緑の稜線のスカイラインを越える建物等の高さを制限し、建築物の最高高さを１５m以下とする。

●エリア内でスカイラインを守る

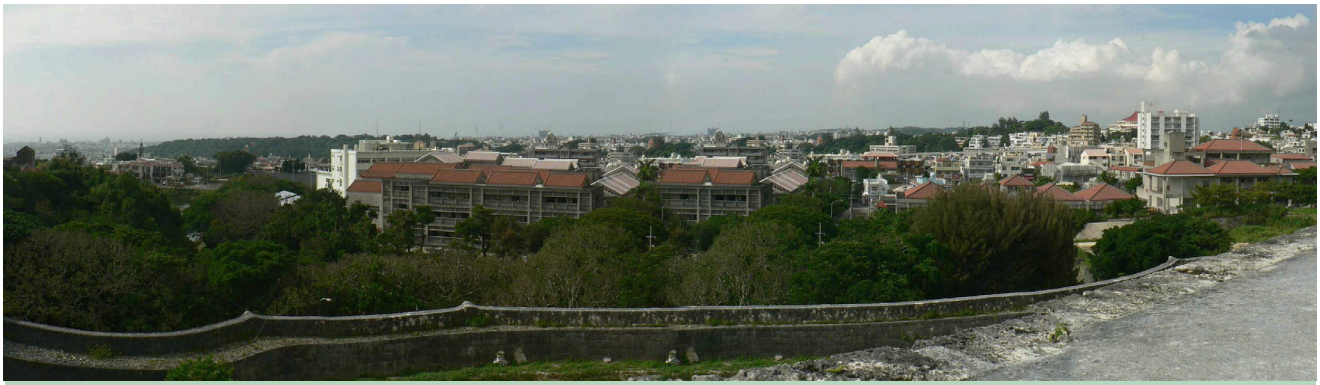


●首里城からの眺望景観を保全するため、首里歴史エリアにおいては建物等の高さを制限し、歴史的な街並みを形成する。



末吉～ニシムイの緑の稜線

首里王府時代の歴史的な緑並びに稜線のスカイライン（末吉～ニシムイ～虎瀬～弁ケ嶽～崎山～首里城公園一帯）の保全をする。



（４）首里城広福門広場から首里杜一帯及び緑の稜線への眺望

（５）首里城東のアザナから弁ヶ嶽、首里杜一帯及び緑の稜線への眺望

（７）首里城京の内から崎山御嶽、雨乞御嶽一帯及び緑の稜線への眺望

（９）首里城西のアザナから西の海を背景とした市街地への眺望

②首里城への眺望景観

・主要な歴史的眺望点の保全・整備ならびに眺望点から首里城への眺望景観を保全します。

儀保駅から首里城をみる

（３）虎瀬公園から望む首里城及び首里杜一帯への眺望

（１）末吉宮から首里城及び首里杜一帯への眺望

（２）ニシムイ御嶽から首里城及び首里杜一帯への眺望

（６）崎山御嶽から首里城及び首里三箇の街並みへの眺望

③首里金城町一帯の眺望景観

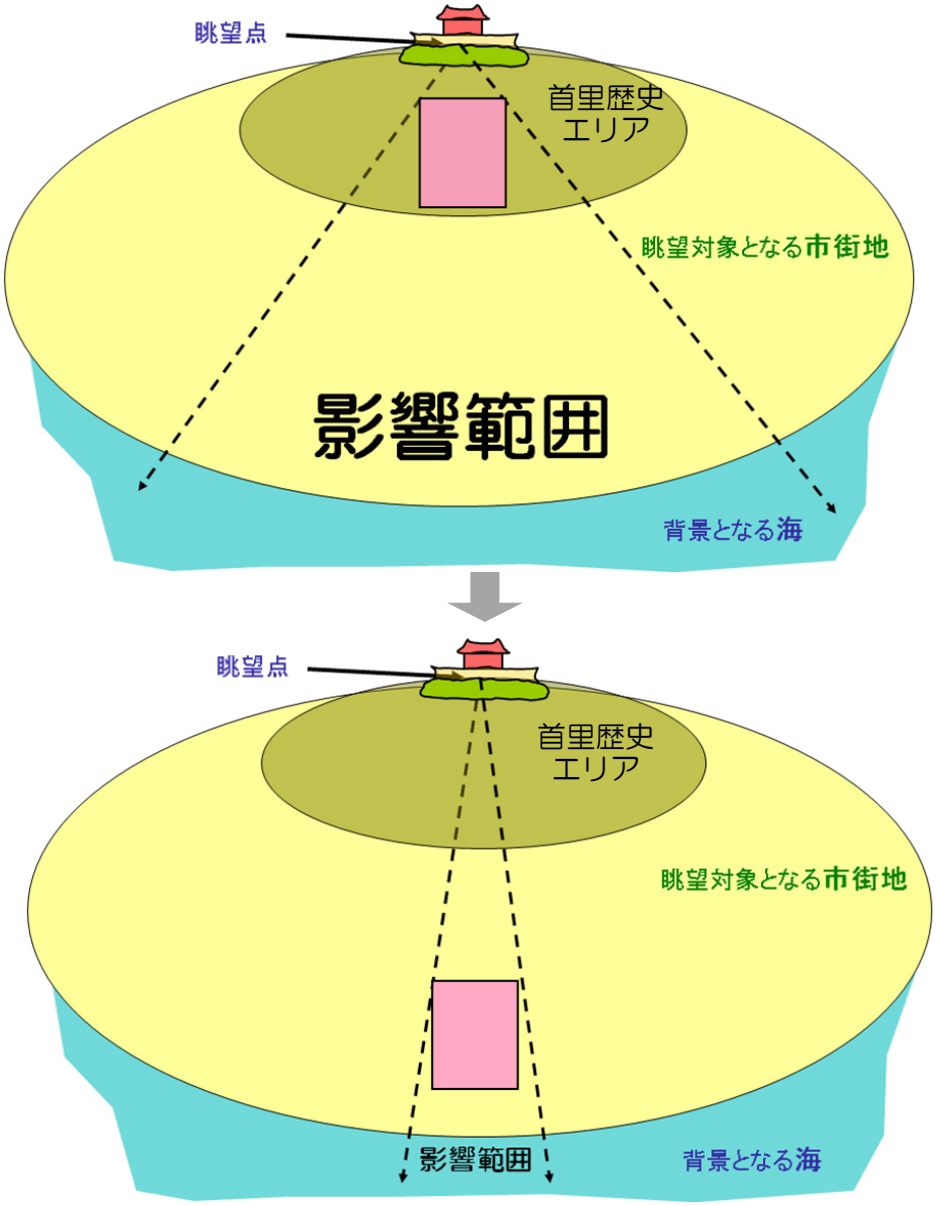
・主要な歴史的眺望点（識名坂：現在の繁多川公園入り口付近）の保全・整備ならびに眺望点から金城町の眺望景観を保全します。

（８）繁多川公園から首里金城町一帯の街並みへの眺望

首里金城町一帯

④建築物等の配置・形態・意匠

・眺望点から見渡せる建築物等や広告物は、眺望景観の妨げにならないような形態意匠や掲出の方法を考慮します。



同じ規模の建物でも、近くにあると、影響が大きくなります。